

プレスリリース

ソニー教育財団『科学する心を育てる 実践事例集 Vol.20』発刊 「保育実践論文」入選園独自の保育の工夫をまとめた PDF を無料配布

公益財団法人 ソニー教育財団（会長 盛田昌夫）は、2022年度に「ソニー幼児教育支援プログラム」の「保育実践論文」にご応募いただいた 162 園の論文から、入選された園独自の「科学する心を育てる」保育実践や取り組みを事例集としてまとめ、ソニー教育財団ウェブサイトにて公開しました。どなたでも無料で閲覧・ダウンロードでき、日々の保育の参考や園内研修にご活用いただけます。

本事例集は、「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始した 2002 年の翌年から毎年発刊し、今回で 20 冊目。園でのユニークな保育実践や工夫を凝らしたアイデアなどの他に、保育者が逃さず撮影した「子どもの心が動いたとき」の写真や、論文を書かれた先生の声を紹介するコーナーもあります。また、保育・教育関係者のみなさまに「幼保小連携」についても意識していただきたいと、小・中学校を対象とした「教育助成論文」入選校の実践の一部と、小学校の先生による幼児教育への思いについて、はじめて掲載いたしました。



『科学する心を育てる 実践事例集 Vol.20』

- PDF 版 カラー42 ページ
- URL https://www.sony-ef.or.jp/preschool/practice/pdf/vol020_all.pdf

ソニー教育財団は、未来を生きる子どもたちの好奇心や創造性、主体性の育みを「科学する心」とし、その育みをテーマとした幼児教育・保育の論文事業を 20 年以上継続して実施しています。今後も優れた実践を、本事例集や入選園での発表会等を通じて広く公開し、保育の質の向上と、子どもたちの「科学する心」を育てる保育の魅力発信に努めてまいります。

◆「公益財団法人 ソニー教育財団」について

ソニー創業者 井深大は、次世代を担う子どもたちの科学教育の充実のため、1959 年に学校への「ソニー理科教育振興資金」の助成活動を開始しました。その後、井深の関心は乳幼児期の教育と人の心を育てることの大切さへと広がり、1969 年に「幼児開発協会」を設立しました。井深の志を受け継ぐこれらの事業を継続的に発展させるため「ソニー教育財団」となり、現在はおもに乳幼児期から高校生までの「科学する心を育てる」「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱にした教育助成を行っています。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団（担当：山下）TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035